

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長 栗田 裕子
編集：広報委員会
監修：ひたちなか市環境保全課
TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

産業交流フェア「みんなの消費生活展」に参加

10月31日、11月1日の2日間、総合体育館(総合運動公園内)で開催された「みんなの消費生活展」に環境四季時計「秋祭り」として参加しました。「生ごみは、燃やさず堆肥化、エコライフ」をテーマに、家庭の生ごみを手軽に堆肥化出来る「段ボールコンポスト」の紹介をしました。

① 厚手の段ボール箱に、基材のピートモス(苔類が堆積し分解して

出来た自然の植物性酸性用土)、もみ殻燻炭、消石灰(ピートモスの酸性を中和する)を入れて混ぜる。
② 水切りした生ごみを基材に入れてよく混ぜ込み、防虫カバーとして古布等をしっかりと掛ける。
③ 生ごみを入れたらよく混ぜる作業を3、4か月繰り返した後、生ごみを入れずに約1か月熟成させると堆肥の完成です。

ブースの来場者は、手軽に生ごみ堆肥が出来るのに関心を寄せた方が多く、説明を熱心に聞き、8月に開催した講習会の写真や映像を見て下さいました。



メインブースで、「段ボールコンポスト」について説明する会員

環境四季時計「冬祭り」環境シンポジウムにご参加を

平成28年2月6日(土)ワークプラザ勝田で、午後1時30分より環境四季時計「冬祭り」環境シンポジウム2016を開催します。

今回は、長堀小学校「三大体験活

- 環境イベント**
・・・予告・募集・・・
- ◇森林保全活動
 - 第4回 1/16(土)
 - 第5回 2/20(土)
 - 第6回 3/19(土)
 - 作業時間：9:30～12:00
 - 場所：美田多町地区
 - ※参加希望、詳しい問合せ 磯前 博巳 Tel:264-1084
 - ◇環境四季時計「冬祭り」環境シンポジウム2016
 - 日時：2/6(土) 13:30～
 - 場所：ワークプラザ勝田
 - ・環境活動発表(4団体)
 - ・環境保全啓発ポスターコンクール表彰式
 - ・アトラクション
 - ※問合せ 市環境保全課
 - ◇第2回環境講座
 - 日時：2/12(金) 9:40～
 - 視察場所：北越紀州製紙(株) 関東工場(市内)
 - ※問合せ 市環境保全課

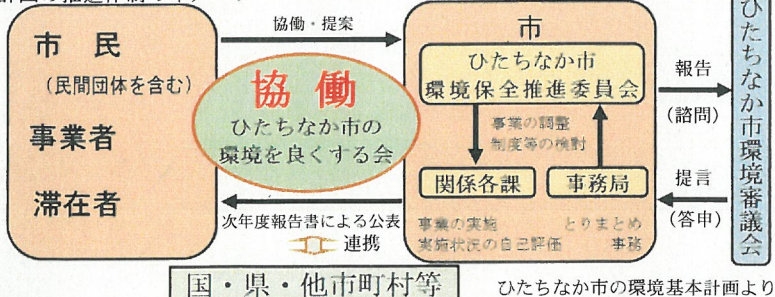


環境クイズのコーナーのようす
家族も来場された。景品を500部用意した環境クイズは、盛況のうちを終了しました。

竹の間伐材を利用した竹ぼっくり、けん玉、ブンブンごまや、ペットボトルを使ったマジック(浮沈子)の工作コーナーでは、笑顔の子ども達でにぎわいました。環境保全啓発ポスターコンクールの受賞作品の展示には、受賞者の家族も来場されました。

動から考える故郷」、那珂湊第一小学校「今も、未来も、幸せに暮らせる社会のために」、阿字ヶ浦中学校「地域に残る貴重な自然の保護活動(14年次)」、本会の事業所会員であるリコーインダストリー(株)による環境活動事例の発表を予定しています。また、環境保全啓発ポスターコンクールの表彰式、アトラクションや抽選会もあります。環境シンポジウムでは、毎年素晴らしい内容の発表があり、大変好評を得ています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

計画の推進体制のイメージ



本会は、「ひたちなか市環境基本計画」に基づいて設立され、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。

問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課
Tel.273-0111 (内線3312)

ひたちなか市の環境を良くする会

検索

環境保全啓発ポスターコンクール受賞作品 【最優秀賞・優秀賞】

ブログにて掲載中

〔地球温暖化防止部門〕

◎最優秀作品



勝田二中2年 千葉 奏未さん

優秀作品



田彦中3年 藤巻 美稀さん

優秀作品



勝田一中3年 西室 怜奈さん

優秀作品



勝田一中3年 幕田 春菜さん

〔まちをきれいにする部門〕

◎最優秀作品



中根小4年 多川 侑真さん

優秀作品



外野小4年 川原 みなみさん

優秀作品



佐野小5年 山形 明日美さん

優秀作品



外野小6年 富田 未来さん

〔自然環境保全部門〕

◎最優秀作品



那珂湊三小1年 根本 蒼真さん

優秀作品



中根小1年 武藤 詩衣さん

優秀作品



前渡小2年 三宅 終平さん

優秀作品



那珂湊三小3年 中澤 葵莉さん

「生ごみ堆肥化について」 提言書を市に提出

9月25日、市役所にて「生ごみ堆肥化についての提言書」を提出しました。

市から薄井市民生活部長外8名、本会から、栗田会長、副会長、池田ごみ問題分科会長外5名、合計17名が出席しました。

提出資料は、ひたちなか市バイオマスタウン構想の実現をめざして「生ごみ堆肥化について 提言書」と

「干し芋加工残渣堆肥化実証試験経過報告書」。さらに実証試験で得られた堆肥のサンプルを、皆様に渡しました。

提言書は、本会が4年間にわたり自治会や市の協力を得ながら進めてきた、生ごみ堆肥化モデル事業の成果をもとにして、堆肥化事業の実施を提言するものです。市長との懇談を申し入れる中で、この度、部長に

受理されました。

栗田会長から提言書の受理についてお礼を申し上げ、また、池田分科



会長から提言書の内容に基づき、家庭から出る生ごみを焼却せずに、堆肥化して農地に還元する、循環型まちづくりを目的とする旨を述べました。

フードマイレージ

出前講座開催

今年度実施したフードマイレージ出前講座についてご紹介します。

8月6日(木)は、大島コミュニティセンターで生涯学習センターが主催した『なるほど発見!大島塾』のうち「環境と食」のテーマを担当しました。『私たちの食が世界・地球をつくる』を題目に、小学4年〜6年生の計21名が参加し、ワークショップ形式で2時間の講座を行いました。参加者は、食の背景をしっかりと理解して、「これからは、ごはんを残さずに食べたい」とうれしい感想がありました。

また、9月15日(火)は、市コミュニティセンターで二中学区地域の輪をつくる会環境部会の市政ふれあい講座企画「地球環境を考える講座」を担当しました。普段から環境問題に取り組んでいる皆さん22名の参加で、積極的な意見や質問が出て和気あいあいと進みました。

両講座で食料自給率を上げる方法についての問いかけをしたところ、年齢層が異なる参加者から共通して出た意見が「地産地消」と「和食」でした。

次回の出前講座は、1月16日(土)小学4年〜6年生対象の講座・4回シリーズのうち1コマを担当します。『参加に関する問い合わせ』

(佐野図書館 ☎270・3811)

「自然エネルギー」や「再生可能エネルギー」をテーマに 子ども向け環境講座を開催



風車作りのようす

本会では、子どもたちに「環境」や「自然エネルギー」等に関心を持ってもらうために、夏休み中に環境講座を開催しました。

本会では、子どもたちに「環境」や「自然エネルギー」等に関心を持ってもらうために、夏休み中に環境講座を開催しました。

「出前講座」「再生可能エネルギーものづくり体験講座」

8月20日から6日間(延べ12時間)、勝田こどもセンターで小学生30名を対象に「再生可能エネルギー」をテーマに、ミニモーターと小型発電機作りの体験講座を開催しました。



高学年と一緒にミニモーター作りのようす

小型発電機を人の力(自転車)で回転して発電した

10月3日(土)午後1時30分から生涯学習センターで、第7回環境ディスカッションを開催しました。

環境ディスカッション開かれる

電力で、プロペラ付ミニモーター複数台を、同時に回転させることができました。子どもたちは、熱心に「ものづくり」を行い、完成した時は、

達成感と喜びでいっぱいでした。今後も、自然エネルギー・再生可能エネルギーの利活用の啓発活動として環境講座等を行っていきます。

今回は、「気になってい身近な環境問題」と、「私たちのエコ意識を高めるには？」の2つのテーマについて、活発な討議が行われ多くの意見が

ありました。その主な内容は、左記のとおりです。最後に、自己のエコ意識の現状を把握し、自分に合ったエコ活動を実践し、それらを他の人にも教え・広める(啓発)活動を推進することを全員で確認し閉会しました。



グループ討議・発表のようす

今回の「気になってい身近な環境問題」と、「私たちのエコ意識を高めるには？」の2つのテーマについて、活発な討議が行われ多くの意見が

・気になっている身近な環境問題

那珂湊コミュニティセンター脇にある名平洞で、ミドリガメ(ミシシippアカミミガメ)の繁殖を確認、その駆除について。また、自然災害が多くなっており、減災に向けての準備・対応も大切。等の意見がありました。

・私たちのエコ意識を高めるには？

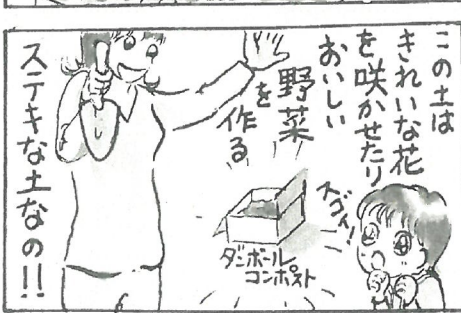
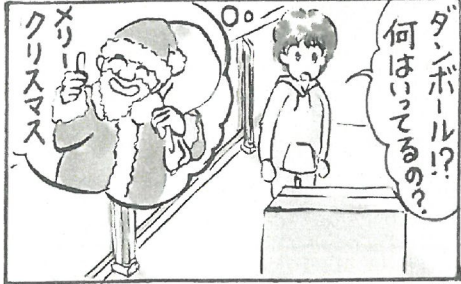
エコ活動(ごみ分別、3R、省エネ・節電等)の範囲が広く、家庭では具体的な項目で実践し、子どもたちへのエコ意識の教育も必要。エコ活動の成果や効果が見えるように(例えば数値化)する事によってエコ意識が高まる。等の意見がありました。



環境

よたやま 4コマ

みい



クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

クリスマス

多良崎城跡に篠、蔦が密生
山野草の盗採多発

多良崎城跡の実測調査は昭和48年に行なわれ、61年に茨城県緑地環境保全地域に指定されました。城は鎌倉時代末期か南北朝時代初期に造られました。

現在、城跡は本郭と三の郭以外は篠や蔦が密生し、山野草などの生育に悪い影響が出ています。また城跡見学の見学路は一部コンクリート舗装されていますが、これが逆に雨が降るとその下側付近の土を削る一因になっていきます。歩くときに苔があり滑りやすいのです。

東日本大震災後4年経ち放射線量は減少したもののまだまだです。史跡内清掃を7月に行い、4袋分のゴミを回収しましたが、ゴミが山

積みで持ち出せない所がありました。季節になると山野草の盗採が絶えず大きな被害が出ています。これらの山野草の再生と保全のため、篠の刈りと倒木の処理を毎年行っており、斜面での作業には安全のためザイルやヘルメットを着用して行っております。



多良崎城跡での自然観察会の様子

今後はコンクリート園路周囲を平らにすること、皆さんの協力を得て篠の刈り取り、倒木や赤松などの伐採をして行きたいと考えます。(多良崎城跡篠刈り有志の会・黒沢)

編集者だより

月日が経つのは早いもので、今年も1年が暮れようとしています。若い頃には、時が経つのが遅く、1年が長く感じておりましたが、近年は1年が短く感じております。

今年も猛暑、集中豪雨等の自然災害が発生し、短い？秋も終わり、寒さが厳しい季節になりました。

「時」は、全ての人に平等であり、一定の速さで経過します。時が経つのを人それぞれが違いを感じるのは何故だろう。

数世紀後にも水と空気に関して、時と同じように意識しなくてもよい環境であってほしいものです。1世紀前に水と空気に関して、意識した人は殆どいなかったでしょう。この1世紀で環境が大きく変わった。良い年でありますように!! (小川)

「食品包装材に思うこと」

プラスチックトレイや袋は、回収後、どのようにリサイクルされるのだろうか?

環境省や、県の情報を収集し、市からも情報をいただきました。

プラスチック製容器包装のリサイクルの流れは、次のとおりでした。

資源回収→圧縮・梱包後、足崎の資源リサイクルセンターで保管→日本容器包装リサイクル協会指定業者の工場ですり物の除去や選別後、ペレット(粒状物)等の再商品化製品に加工→再商品化製品利用事業者で製品化(日用雑貨や土木建設資材)あるいは、工業原料(高炉還元剤、コークス炉化学原料等)としてリサイクルされております。

ちなみにリサイクルされたものの約4割がプラスチック製品の材料、残りの6割は工業原料として使用されております。

環境省の資料によれば、容積比で家庭ごみの約半分が容器包装で、その約7割をプラスチックが占めております。

当市は、早くからプラスチック製容器包装の回収を始めましたが、ここ数年の回収量は、横ばい状態にあります。プラスチックのトレイや袋をリサイクルすることが、焼却する家庭ごみの量を減らすことにつながります。

皆様の家庭で出す燃えるごみの中に、プラスチックの包装ごみは何割くらいありますか。(広報委員会)

ひとちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 徳島製作所水戸事業所</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひとちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711(代) http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 イトウシオネット トコライフリンク ひとちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>Hitachi Koki 日立電動工具</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.makis.garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>B.P. Bio Power 木質バイオマス発電所 (株)バイオパワー勝田 ひとちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>
<p>Sinary 100% 脱石油 化粧品・日用品・ アロマまで、石油系化学物質を使わない、人と環境を守る製品です。シナリー 桜季(株) TEL029-271-0766</p>	<p> ひとちなか、東海 ハイテック株式会社 ひとちなか市新光町 103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>セイメイヤ ひとちなか馬渡店</p>	<p> Global Teamwork KOMATSU コマツ 茨城工場 〒312-0904 茨城県ひたちなか市東町44-44 http://www.komatsu.co.jp</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ 私たちの使命は、環境を良くすること 株式会社 環境エネルギー 〒272-2141 千葉県市川市東町1-1-1 TEL 0476-272-2141 http://www.kaitokyo.co.jp</p>	<p> 詳しくは 環境を良くする会のブログを ご覧ください。</p>